

様式第2号(第7条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称		川島町部活動地域展開検討委員会（第1回）
開 催 日 時		令和8年3月2日（木）午後6時から午後7時
開 催 場 所		川島町役場 2階 大議室
議 題		(1) 川島町部活動地域展開検討委員会の概要 (2) 川島町部活動地域展開の説明と確認 (3) 今後の川島町部活動地域展開に向けて
公開・非公開の別		☒ 公 開 ・ ☐ 非公開 ・ ☐ 一部非公開
非 公 開 の 理 由 (非公開の場合のみ)		
出席者	委 員	【1号委員】 佐藤 香織（川島町立川島中学校長） 佐野 公洋（川島町立西中学校長） 松井 将太郎（川島町立川島中学校教諭） 石川 陽一（川島町立西中学校教諭） 【2号委員】 神田 隆（川島町スポーツ協会長） 北原 章男（川島町スポーツ少年団本部長） 野口 正東（川島町スポーツ推進委員協議会長） （川島町総合型地域スポーツクラブ理事長） 花嶋 真次（川島町総合型地域スポーツクラブクラブマネージャー） 【3号委員】 小田 秀春（川島町文化協会長） 【4号委員】 金子 朋子（川島町立西中学校PTA会長） 【5号委員】 石川 和貴（政策推進課長）
	事務局職員	関口教育長、田中教育総務課長 神田生涯学習課長 平岡部活動地域展開指導幹 道祖土教育総務課主幹 鈴木生涯学習課主幹、矢部生涯学習課主査 青柳教育総務課指導主事
欠席者	委 員	【4号委員】 岡野 奈月（川島町立川島中学校PTA会長）
配 布 資 料		第1回 川島町部活動地域展開検討委員会 資料
1 開会 2 委嘱状交付 3 あいさつ 川島町教育委員会 教育長 関口 敬氏 4 委員自己紹介 5 事務局紹介 6 委員長及び副委員長の互選 委員長 川島町立西中学校長 佐野 公洋 委員 副委員長 川島町スポーツ推進委員協議会長 川島町総合型地域スポーツクラブ 理事長 野口 正東 委員 (1) 会議の公開について 公開することに決定した (2) 会議録及び会議署名委員の指名について 委員（1号委員） 川島町立川島中学校長 佐藤 香織 委員 （1号委員） 川島町立川島中学校教諭 松井 将太郎 委員の2人に決定した。 7 議事 司会 委員長 (1) 川島町部活動地域展開検討委員会の概要 事務局より：川島町部活動地域展開検討委員会の設置要綱を基に目的等を説明 【委員の質疑、意見】 特になし		

(2) 川島町部活動地域展開の説明と確認

関口教育長より：川島町のこれからの動きについて。

【委員の質疑、意見】特になし

(3) 今後の川島町部活動地域展開に向けて

事務局より

①疑問点とか、これは「どうなのか」などたくさんある。

②次回はQ & Aを作る。課題を皆さんで共有しながら解決していく。

・行政でできるもの ・学校ができるもの ・地域ができるものを確認する。

③これまでの検討会での課題をあげていく。

○経済的に支援が必要な家庭の生徒に対して町の支援はあるのか。

※国が支援していく動きがある。その点も回答したい。

○平日と休日の指導者が変わることによって生徒の戸惑いが起きるのではないか。

※在り方検討会の中でも質問があった。

○実際、クラブが本当に大会に出るのか。

※募集をして、どこまで指導者が集まるのか。クラブがどこまでできるのか。スポーツ少年団が中学生を受け入れることは難しいところもあるかもしれない。

新たに手を挙げて、「やってみたいんだ」というところもあるかもしれない。

次回、その点を含めながら、皆さんの考えもお聞きしながら、進める。

【委員の質疑、意見】

委員①：生徒の減少に伴い、先生の数が、どのくらい減少するのか。

教育長：急激な減少はない。クラス数で、教職員の数が決まってくる。子どもの数が半分になっても教職員数が半分になるかというわけではない。いずれにしても子どもの数は減っていく。確実に教員数も減っていくのは確かである。

委員長：子どもの数が減れば教員の数も減っていくのは間違いない。

委員②：委員会の委員として、お声かけていただいたので、私はしっかりやりたいと思う。

しかし、今回の会議の時に、学校関係者や保護者の代表者の方など、学校現場での異動があった場合、次回はメンバーが変わるのか、それとも異動先から来て、やるのかということを確認したい。以前検討会をやったとき、あの時の熱量のままで、そのまま推移するのかなと思ったら、人が変わってしまって、熱量が下がってしまった。その変わったところで、また熱量を作るっていうところは。難しい。

事務局：同じ熱量でやっていきたい。実際変わった中で熱量をまた同じようにしていただきながら進めていただく。学校の先生たちも異動があるので難しいですが、2年という任期ということ。

委員②：異動でいなくなった場合は。

事務局：違う方を委嘱し、在任期間で行う。

委員③：検討会の時の、疑問点等をお話しいただいた。次回、検討会であった疑問点を。「先生が異動になったとき」にどうなのかなど。以前の検討会が反映されていないような感じが見受けられる。

委員長：事務局の方は今までのお話の流れとかわかるようなものも、次回提示する。

委員④：文化的なものが将棋だけ。今後、吹奏楽を受け止められる地域団体があるのか。美術、科学的なもののクラブ、文化の一覧とか、またクラブチームとかっていうのがあれば、資料を出していただけるとありがたい。

教育長：現状ではない。

委員③：検討会でも吹奏楽部が課題に挙がった。楽器等を運ぶのが大変だ。中学で行うようになる。いろいろと疑問点がある。できる、できない。それから先生の関係でお話があったのかなと思う。次回はそういう場があればいいかなと。

教育長：例えば生徒が活動できるクラブを新設してもよいのでは。

委員⑤：生徒数の減少というのがあった。今後中学校が、2校が1校になるとか、13年度までに、そういう話があるのか。

教育長：令和13年は難しいと思う。その辺のところも難しい。

委員長：それを想定して今後話し合いを進めていくことあるのか。

それとも、現状のままなのか。ゆくゆくはそういうことも想定するのか。

教育長：結局、今は2校体制であるが、今後中学校の枠は取り払う。

委員⑥：やり方は同じ川島であり、おおもとは一緒ですから。一番肝心なのは、学校の先生方が一生懸命やってる先生と押し付けられている先生もいる。先生の意見が一番大事だと思う。土日たいんだよという先生もいる。

ただ、働き方改革で、難しい思う。中にはクラブ活動やりたくて、先生になった方も結構中にはいると思う。そういう方がどう思ってるか。部活を「手放せてよかった」と思っている方もいます。先生と子どもたちの意見が一番大事だと思う。それが主となってく。やったら潰れてしまったのではなく、「やってよかったな」という形が必要だと思う。ぜひ検討する中で入れていただければと思う。

委員⑦：誰のための「地域展開」なのかなと。子どもがこれだけ減少してきて、子どもの活動場所の確保をだとすると、いろんな種目を増やしすぎてしまうことで、さらに子どもが活動する場所もなくなってしまうかなということ。例えば「大会」って考えたときには、場所も限られている。部活動は地域移行から地域連携や地域展開など、名称が変わってきて、なかなか国自体もうまくいかず、言葉をうまく濁し、なんとか現場でやってるいのかなと思う。地域展開の「メリット」は書いてありますが、地域クラブにすることの「デメリット」はないのか。しっかりと保護者に説明した上で地域展開を進めていかないといけないと思う。

結局、子どもが減ってくると、地域展開したところで、存続か他の市町村にいくかみたいなことが起きていく。川島町が発展していくためには、子どもの数が増えるようなことをしていかなければいけないと思う。この場じゃないところで考えられてると思うが。

部活もできなければ、子ども達の選択もできなくなってくるので、「魅力的な川島を」。子どもも教員も来たいと思う町作りを。それを、考えた時に、地域展開を、今をやろうとしていることが果たしてそれに繋がるのかと疑問に思う。誰のための、何のための、どういうための、「地域展開」なのかなっていうところ。国から「やれ」って言われて、やっていくしかないと思うんですけど。

部活動を一生懸命やりたいという人は、熱量があって、いろんなことに「やろうぜ」とか子どもを、活動しながら育てていこうっていう所で、かなり発揮されてる方が多いので、その方々が入ってこられるような活動と地域の繋がりを。教員が関われる形を作っていただけると。周りの地域から川島町は、衰退していく部活動の中で「部活の指導ができる」らしいとなったら、希望するエネルギーな先生がくると思う。結局、どこの市町村も部活できないとなると、やる気をなくしてしまう方がでてくると思う。将来的に「川島町を魅力的にする」ところで、1つのチャンスに変えられる所、そういったところをうまく皆さんの意見を出し合いながら進めたい。

委員⑧：前回の会議のときも参加をさせていただいて時間をかけてたくさんの方のご意見をいただいてということがあったかなっていうふうに思うので、ぜひまた、皆さんが集まって貴重な時間で話し合うので、今度は絞って、できること、できないことを、話し合い、次に繋げるような形がいいのかなと。皆さんも思ってたっしやる思うので、これまで、ずっと漠然として、それぞれが思ってる想いを皆さんが伝え合うということができていたと思う。それは、前回の会で、終わったと思うので、次の段階でも進むべきかなと思うと、この委員会の立ち上げの目的の中にもあった、「学校の立場だったらこれはできる」「それはできない」。

「地域の立場だったらこれができて、それができないのか」をきちんと明確にした上で方向性を絞って、話し合いができるとありがたいと思う。

【4 その他】

事務局：次回について、2ヶ月の1回ぐらいの開催で今5月1日を考えている。

5月1日金曜日、時間は、夜、昼、夜、昼の時間帯で回していく。時間は15時。

方向性を示しながら進めていきたいと思う。次回は5月1日。

【委員の質疑、意見】

委員③：私、野口、花嶋が火水金の夜に教室がある、3人が出られない。火水金であれば、昼間にお

願いたい。あとは、月木は夜で可能。 委員長：それでは以上で全ての議題が終了した。 事務局：今回は課題を検討できうる委員会にしていきたいと思う。 事務局：当委員会の野口副委員長から閉会のご挨拶を。 9 閉 会 野口副会長より 副委員長：これからは、みんなで意見を言わないと会が進まない。5月1日、一生懸命やりたいと思う。	
署 名	(1号委員) 川島町立川島中学校長 佐藤 香織
	(1号委員) 川島町立川島中学校教諭 松井 将太郎